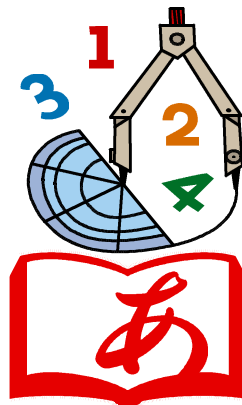


師走の候、寒さが例年以上に厳しい状況ですが、保護者のみなさまにおかれましてはお元気で過ごしのことと存じます。夏休みに悲しい出来事がございましたので、しばらくの間年次通信の発信を控えさせていただきましたが、お伝えしたいこともたくさんございますので、発信していくことにしました。ご理解いただきたく存じます。

◇2学期の成績が出ました！ 3学期に向け、親子でじっくり話し合いを!!

2学期の成績が出ましたので、同封の成績表をご覧ください。2学期中間考査では、欠点を取った生徒が非常に多く心配しました。夏休みから学校祭へと続き、切り替えができずにダラダラと学校生活を送ったことが要因の一つに上げられると思います。そこで、2学期末考査に向け、欠点者集会や居残り学習を実施し、意識付けや学習時間の確保を行った結果、欠点数は激減しました。しかし、効果の出なかった生徒がいますので、この冬休みを利用して親子で話し合う機会を持ていただき、欠点解消に努めていただきたいと思います。逆にじわじわと成績を伸ばしている生徒もいますし、2学期に一気に加速して成績を伸ばした生徒も何人かいます。2年後の進路実現をめざし、今から体制を整えていきましょう。進路実現は3年間の総学習量で決まります。



◇進研11月模試の結果は、国語・数学が上昇、英語が下降！

次に進研11月模試の結果についてご報告いたします。進研模試は48万人が受験しており、全国での現在位置が確認できますので、いい刺激をもらうことができます。

さて、本校の成績を見てみますと、7月模試から11月模試にかけて、1年次生全体の平均点偏差値は国語が2.4p(ポイント)、数学が2.0p上昇したので、日ごろの成果が出ました。一方、英語が0.5p下降していることに危機感を感じています。3教科総合では1.6p上昇しています。国語・数学はこの調子で11月模試の成績も伸ばしてほしいと願っています。英語に関しては進路実現のためには最も重要な教科になってきますので、「英語の成績を伸ばすんだ！」という強い思いを持って、「三時刻の固定」「反復学習」等の生活習慣を見直し、とにかく毎日英語の教科書や参考書等を開いて机に向かうことをオススメします。

冬休み明けの、1月10日(水)に第5回課題テストが、1月20日(土)に進研記述模試がありますので、しっかり準備をして試験に臨んでください。更なる成果を期待しています！

◇12月12日(火)に台湾の国立新化高級中學の生徒と交流会を行いました！

11:35~12:35	オープニングセレモニー	体育館
12:35~13:10	食事会	百周年記念館
13:20~14:05	12HR(数学I)、13HR(数学A)、17HR(理数化学)、茶道(茶道室)	
14:15~15:00	11HR(古典)、14HR(英語I)、15HR(家庭基礎)、16HR(数学A)、茶道	
15:10~15:55	書道(書道室)	華道(被服室)

12月12日(火)に台湾の台南市にある国立新化高級中學の生徒36名が本校を訪れ、1年次生と交流会を行いました。午前中は体育館でオープニングセレモニーを行い、両校の校長先生が挨拶をした後、学校間で記念品の交換を行いました。次に、本校の箏曲部が演奏、剣道部員による日本剣道型をそれぞれ披露し、歓迎しました。箏の優雅な音色と緊迫感のある日本剣道型は日本の伝統的な文化を台湾の高校生に伝えられたと感じました。その後、新化高級中學の生徒が全員で日本の曲をBGMにしてダンスを披露してくれました。次に台湾の観光スポットや食文化をパワーポイントで説明してくれました。最後にダンスの上手な3名が代表して踊ってくれ、緊張感の中にも和やかな雰囲気が漂う交流会となりました。

食事会では付き添い役(バディ)の各HRの代表者2名が昼食をともにし、うちとけたムードになって会話が弾んだそうです。会話は主に英語で、中には日本語を流暢に話す生徒もいたそうです。ここでも英語の重要性は確認できたと思います。英語は大事だよぉ～!!

午後からは、バディが新化高級中學の生徒5~6名を先導して各HRに入り、一緒に授業を受けました。各HRの先生方のさまざまな創意工夫が見られた授業でした。その他、授業と平行して茶道、華道、書道の授業も受けて日本の文化に触れてもらいました。あっという間に時間が過ぎ、両校生とも別れ間際まで名残惜しそうにしている姿が印象的でした。

◇冬休みに今一度学習習慣を見直し、結果の出る3学期につなげよう!!

最後に、全回の年次通信でスタディ・サポートの結果報告をしましたが、その中の【学習行動】では、生徒の学習状況を「習得型」「課題克服型」「仮説検証型」の3つの学習行動に分類できるということをお伝えしました。これはAゾーンからDゾーンに属するそれぞれの生徒が身につけなければならない学習習慣になってきます。要点を繰り返しお伝えします。

Aゾーンの生徒がSゾーンを目指すためには「仮説検証型」の学習スタイルを身につける

- 「仮説検証型」の学習の設問例としては、
- 各教科の授業の予習への取り組みができています
 - 何から学習をしたら良いか順番を考えるようにしている
 - 授業に目標や目的を持って取り組んでいる
 - 計画や目標を決めて学習をするようにしている

Bゾーンの生徒がAゾーンを目指すためには「課題克服型」の学習スタイルを身につける

- 「課題克服型」の学習の設問例としては、
- 各教科の定期試験後の復習ができています
 - 学習の計画が上手に進んでいなければ見直すことができる
 - 疑問点は先生や友人に質問して解決できている
 - 重要なところがどこかを考えて学習するようにしている

C・Dゾーンの生徒がBゾーンを目指すためには「習得型」の学習スタイルを身につけること

- 「習得型の学習」の設問例としては、
- 各教科の宿題・授業の復習への取り組みができています
 - 各教科のノートがきちんと取れている
 - 各教科の学習内容(宿題・復習を行っている)
 - 帰宅後学習を開始する時間(継続的学習ができる)が決まっている

◇あなたは今のままの学習スタイルで本当に大丈夫でしょうか?!

冬休みに生活面、学習面等をしっかりと見直し、学習に部活動に充実した日々を送ってください。自己変革とともに、3学期及び来年度がさらに良い年になるよう祈念いたします！

※12月25, 26, 27日及び年明けの1月4日は冬期補習日になっていますので、登校させて学習活動に励むよう激励をお願いいたします。次回発信は1月下旬を予定しています。